

ぶな

2021年10月号

NO.511



滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

<目 次>

「目 次」	1
「巻頭言」	2
【例会山行案内】	
・ 雨乞岳（10月9日）	3
・ 京都トレイル（2）（10月16日）	4
・ 登山祭典兼秋の公開山行 マキノ赤坂山～三国岳～黒河峠（10月24日）	5
・ ～交流登山～第22回比良山系飲み水水質調査・第7回放射線測定山 （10月31日）	6～7
【個人山行報告】	
・ 初めての八ヶ岳（7月31日～8月1日）	8～10
・ 五色ヶ原～薬師岳（8月28日～31日）	11～12
・ 那須岳（9月11日～12日）	13～14
【図書案内】	
・ 山岳事故の記録集「事故防止は仲間の知恵で」	15～16
【定例会報告】	
・ 運営委員会（9月14日）	17～18
・ 10月予定表	19

＝ 表紙の写真 ＝

那須岳

2021. 9 撮影：I東S二氏

巻頭言

酔っぱらいの独り言 ②

ある日新聞を見ていると目に飛び込んできた。

呑み助の肩身がドンドン狭くなっている。飲み会は様々なハラスメントの温床である、と厳しい批判を浴びているところへ、コロナ禍が追い打ちをかけてきた。

今や酒はすっかり社会の敵になってしまった。

世の居酒屋さんは、大変な時代へと突入し困窮の極みでしょうとお察しする。

そんな逆風の中で「酔っぱらいが変えた世界史」 ブノワ・フランクバルム著 には、なにになに？一千年前の人類の祖先の遺伝子異変から、1994年のチェチェン紛争まで「アルコールが世界を変えた 21の歴史物語！」が書かれている？

歴史上の偉人達も酒が大好きだったらしい。これは呑み助の失地回復を目指す書物ではないか。一千年前、人類の祖先は「エタノールをより早く分解できるようになる」食欲を増進する効果がある。「アルコールの摂取は人の進化を加速させた可能性がある」そして、ピラミッド建設も、立憲君主制も、米独立戦争も、フランス革命も、マルクス主義も、日露戦争にも酒が絡んでいるという。

しかし、呑み助の失敗も多々ある。アレキサンドロス大王はローマとの覇権争いに臨む前に、深酒のせいで32歳の若さで世を去った。リンカーンが暗殺されたのは、ボデューガードが飲んだくれていたからだという。ロシアが誇るバルチック艦隊は、喜望峰経由で極東に向かうという長い長い旅の間、ありとあらゆることに祝杯を挙げながら時間をつぶしていたところ、しらふで待っていた日本の連合艦隊に撃沈させられた。結果、数百本の酒瓶と4400名のロシア兵士の死体が海峡に漂った。

酒がろくでもない代物だということが身に染みてくる。「逆境も致し方ない」と反省しつつ、しかしと呑み助は考える。この面白いエピソードを肴に一杯飲めるぞと。

コロナ禍が終息し、平常に酒を飲める日が一日も早く戻ることを。

酔っぱらい O村 M夫

<例会山行案内>

雨乞岳

御池岳に次ぐ鈴鹿山脈第 2 の高峰雨乞岳に武平峠から登ります。東雨乞岳の山頂は展望が良く 360 度見渡せます。その先の雨乞岳へは素晴らしいクマザサの尾根を往きます。

日時 10月9日(土) 塙田駅7時集合

予備日 10月10日(日)

(コース)

塙田駅集合 7:00＝野洲駅 7:40＝武平峠西口駐車場 9:00～沢谷の頭 10:06～
三人山 10:52～東雨乞岳 12:00 昼食 12:30～雨乞岳 12:47～東雨乞岳 13:07～
沢谷峠 15:15～武平峠 16:00＝塙田駅 18:00

体力 ★★★☆☆

技術 ★★★☆☆

担当&申込先 H島

締切 10月3日(日)

<例会山行案内>

京都トレイル（２）

京都トレイル例会は、京都を一周する８０キロのトレイルを５回に分けて完歩しようとする企画です。初回（４月３日）は、トレイルの起点となる伏見桃山から花見を楽しみながら蹴上まで約２０キロを歩きました。

今回は、蹴上からスタートし大文字山を経て東山コースの終点、ケーブル比叡まで歩き、ここから北山コースに入り延暦寺境内の歩道橋（標識６）をゴールにして１８キロ程を歩きます。下山はケーブルカーで坂本まで下り、JR坂本駅で解散します。

秋空のもと人気の京都トレイルを健康ウォークされませんか。

日 程：１０月１６日（土）

集 合：JR山科駅前 ８時００分

コース：地下鉄山科 ８：３２→蹴上駅 ８：４０→七福思案処 ９：１０→大文字山 １０：２０→四つ辻→霊鑑寺→哲学の道→北白川 １１：５０→瓜生山 １２：３０（昼）→石鳥居 １４：２０→ケーブル比叡 １５：３０→歩道橋 １６：００→ケーブル延暦寺 １６：３０→坂本→JR坂本 １７：３０

難 度：体力★★★☆☆ 技術★☆☆☆☆

装 備：水、弁当、雨具、日帰り装備

申込先：K原

締 切：１０月１２日（初参加も大歓迎！）

雨天中止：中止する場合は前日に連絡します。



<登山祭典(秋の公開山行)案内>

マキノ 赤坂山～三国岳～黒河峠

… びわ湖眺望と紅黄葉を楽しみましょう …

日 程： 2021年 10月 24日(日) 雨天中止

コース： 堅田駅=(貸切バス)=小野駅・和邇駅・近江今津駅=マキノ高原駐車場
～栗柄越～赤坂山～明王ノ禿～三国岳～黒河峠～黒河林道峠入口=(貸
切バス)=マキノピックランド=近江今津駅・和邇駅・小野駅・堅田駅

歩行 約5時間半

集 合： JR 堅田駅 7:00 小野駅 7:10 和邇駅 7:15 近江今津駅 8:00

交 通： 貸切バス

持 物： 弁当・飲物・雨具・ライト等の日帰り装備

参加費： 会員・会友・会員家族：2500円

会員の友人・知人： 3500円 (バス代・保険代)

定 員： 40名 (定員になり次第締切)

担当&申込先： N村高

※野点は行いません。(新型コロナの感染予防のため)

※マスク着用(山行中以外)・手指消毒・検温実施をお願いします。

※集合は 堅田駅・小野駅・和邇駅・近江今津駅のいずれか。

秋のメイン行事です！
会員は早めに申込ください。
友人・知人も是非お誘いください。

<例会山行案内> ~交流登山~

第 22 回比良山系飲み水水質調査・第 7 回放射線測定山行

今年、滋賀県内の他会の方も参加できる「交流登山」に指定されました。
また、「夏原グラント」の助成を受けています。
長い間当会が続けている自然保護活動のひとつです。他会の方との交流ができるチャンスですし、南比良峠で両コースが会えるかどうか楽しみですよ！！
是非参加ください。

10月31日(日) 7:00 和邇川河川敷

<コース>

1 班 大橋スリバチの水方面

和邇川河川敷＝坊村～牛コバ～○大橋スリバチの水～南比良峠(昼食)～烏谷山
～摺鉢山～○白滝谷登山口湧水～坊村＝○権現山登山口湧水(採水)＝事務所

2 班 荒川峠方面

和邇川河川敷＝(中谷出合登山口へ配車)＝●イン谷口～●大山口～●カモシカ
台～●北比良峠～○●八雲ヶ原水場～●金糞峠～●南比良峠(昼食)～●荒川峠
～○●荒川峠道湧水～●中谷出合登山口＝(イン谷口へ車回収)＝○●金比羅道
の湧水＝事務所

※○印は採水場所、●印は放射線測定場所です。

※採水用具等は会で用意し、朝お渡しします。終了後事務所に集めます。

※放射線測定は、機器が1台しか借りられないため、荒川峠方面のみの測定です。

※交通費・検査費用は、夏原グラントから助成されます。

レベル 体力 ★★★☆☆ 技術 ★★☆☆☆

持ち物 水、昼食、非常食、地図、磁石、雨具、ヘッドライト、スリング、
カラビナ、その他日帰り装備

申込み先 自然保護担当 K藤
希望コースを明記のうえ、お申し込み下さい。

締め切り 10月25日(月)



この事業は平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」の助成を受けて実施しています。

<個人山行報告>

初めての八ヶ岳

S藤 M子

この夏行った初めての八ヶ岳山行を報告します。

日時：2021年7月31日（土）～8月1日（日）

夜行バス利用現地1泊2日

行程： 7/30 京都駅八条口 23:25 発 爽やか信州号八ヶ岳行乗車

- 1日目** 7/31 美濃戸口着 7:40=美濃戸口スタート 8:00～美濃戸～北沢コース～赤岳
鉱泉 11:25～赤岳の頭 14:00～硫黄岳 14:30～硫黄岳山荘 15:15 着：宿泊
- 2日目** 8/1 硫黄岳山荘 4:30～台座の頭 5:00～横岳 5:35～三叉峰 6:00～地蔵の
頭 7:25～赤岳天望荘～赤岳山頂 8:50～文三郎道を下る～行者小屋 10:30～
美濃戸口 14:30 着～バスで茅野駅へ～茅野駅から JR で帰滋賀 21:00 頃

仕事を終え、深夜に爽やか信州号に乗車。翌7:40に美濃戸口でバス降車後、靴紐を締め直し、美濃戸口バス停にある登山届用のポストに用意してきた計画書を出す。（会にも提出済み）大きな山への初の単独行、慎重に行動することを心に誓っていざ出発。

今日は美濃戸口（標高1,488m）から硫黄岳（標高2,753m）まで登る。標高差1,265m。最初は、南沢コースから行者小屋～阿弥陀岳～中岳～赤岳へ登ることを考えていたが、山小屋の予約時に小屋番さんから「夜行バスに揺られて疲れている体いきなりの急登はしんどいですよ、時計回りで北沢コースの緩やかな登りで徐々に体をならしながらおいでなさい」との助言を受けてそうすることに。（このアドバイスが適格であったことは、後ですぐにわかることになる。）

美濃戸口でバスを降りた登山客は数人いて、登山口の美濃戸まで車で来ている人も数人。その中の一人に、私と同じようなソロの女性の方と話す機会があり、聞くと彼女は（私とは）逆のコースで阿弥陀岳、赤岳、横岳、硫黄岳と回ってスタートの美濃戸に戻る予定だという。同じ周回コースを私は時計回りに彼女は反時計回りに歩くということなので、「しんどい方から歩かれるのですね、頑張って。明日どこかでまた会いませうね！」と、各々の道へと分かれる。

そして樹林帯の中に入り、赤岳鉱泉までの3時間半の緩やかな登りを歩く。さらに2時間を過ぎ、標高が上がってきて赤岩の頭（標高2,647m）に近づいたところに、徐々に

しんどくなってきた。今までの経験からこれは高山病だと感じつつ、どうしようもないので、ゆっくりと歩を進める。標高 2,500m あたりがつかつたが、展望も開けてきて右手に横岳赤岳の雄大な姿を眺めながら歩けることを励みにする。写真を撮るのに絶好な場所では、それを楽しみながら。そしてとうとう着いた硫黄岳山頂(標高 2,760m)は残念なことにガスが出てきて、かの有名な爆裂火口の端が見えたかどうかというところで完全にガスの中へ…。私は早々に諦めてケルンの数を数えながら、今日泊まる硫黄岳山荘へ向かった。

硫黄岳山荘の周りにはコマクサの保護区があり、美しい花をつけたコマクサの群生が見られた。山荘は、玄関のタルチョの飾りが素敵で、小屋内の掃除も行き届いている。宿代はカード決済ができ、500 円で温水シャワーも使えたので、体もさっぱりした。

夕食のお料理もとても丁寧につけてあり、白身魚のロール揚げ・生野菜にマカロニ・煮込み野菜が一つの大皿に盛ってあり、深い大き目の皿にトマトスープで煮込んだチキン(スプーン・フォーク付き)、ご飯(お代わり可)、手作り味噌の味噌汁、デザート(杏仁豆腐)と品数多く、クオリティ高く美味しかった。硫黄岳山荘の若いスタッフはきびきびとしていて感じがよく、トイレも綺麗で、寝具も清潔なカバーが掛けてあった。さらに、コロナ以前なら 2 人で使うスペースを一人で使うという贅沢もできた。感じの良いことばかりだったので、またここに来たいと思う。

ベッドでは、栃木から来た女性 2 名の方と話す機会があり、会話も弾んで楽しく過ごすことができ、退屈する時間もないまま、明日の早出に備えて荷物をまとめ、7 時過ぎには就寝する。

歩くのが遅い私は、翌朝 4 時に起床し、ヘルメット装着で 4:20 分に出発する。良く眠れたお陰で体はすっかり回復していた。硫黄岳山荘を後にし、まだ明けきらぬ群青色の空には瞬く星があり、好天気を予感。露を含んだコマクサや山ホタルブクロ、イワウメなどの花々を道端に見ながら、この山行の核心部にあたる八ヶ岳きつての岩稜帯(横岳・赤岳)へと向かう。岩稜帯を進みながら危険な場所では、気持ちを集中して慎重に超えていくようにした。横岳を通過した am5:30 ごろ、行く手の赤岳・阿弥陀岳の左前方に雲海の上にそびえたつ富士山の姿が見えた。また、赤岳・阿弥陀岳の右奥には南アルプスの山々が、そのやや右方向に中央アルプス、右後方に北アルプスの山々が姿を現している。早朝の爽やかな空気のなか、富士山&アルプスの山々を見ながらの稜線歩きで気分は最高に…!

そして鎖・ハシゴの三叉峰を過ぎたころ、昨日美濃戸で南沢コースへと分かれた女性と出会う。彼女曰く、南沢コースはやはり厳しくて文三郎道の鬼の階段に疲れ、阿弥

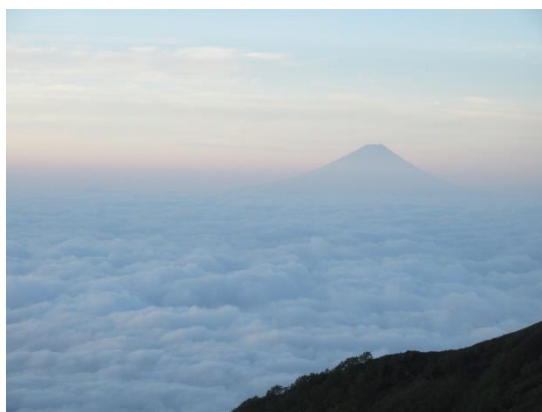
陀岳は断念したとのこと。(…そうか、やはり、高山病になりやすい私は北沢コースで正解だったなあ、とあらためて思う。) 私は「昨日苦勞した分、今日の北沢コースは楽ですよ！」と彼女に伝える。

am6:00 ごろ地蔵の頭で地蔵尾根をあがってきた人たちと合流し、人が増えてあたりはにわかに騒がしくなった。赤岳天望荘を過ぎると主峰赤岳は眼前に。ここから上がっていく赤岳(標高 2,899m)の急斜面は、ガレ・ザレており、後方の登山者に落石しないように注意するのに神経を使う。と同時に自分も滑り落ちないように登るのに時間を要した。赤岳には2つのピークがあり、まず頂上山荘がある北峰へ、山荘の建物の横を通過して赤岳神社・三角点がある南峰へと向かう。

そしてついに、ついに赤岳登頂！(am8:50) ごつごつした岩だらけの頂上はさほど広くはなく、数人の人がいた。次から次へと登山者が登ってくるので、10分程して下山にかかる。阿弥陀岳方向からガスが立ち込め、視界がなくなったので、阿弥陀岳への登頂は諦めて文三郎道で下山することに。(天候悪化の兆しがあり、私は何よりも山頂での雷が怖い。)

文三郎道の岩場・鬼の階段を黙々と下って行者小屋へ下りる。その後、樹林帯の中で雨・雷にもあったが、美濃戸口からバス乗車、茅野からJRで家路へと急ぎ、八ヶ岳山行を無事終了することができた。

記：S藤



<個人山行報告> 五色ヶ原～薬師岳

参加者：CL・写真：K嶋・S水：記録

行程：

8/28(土)大津発 00:10～名神・北陸道～立山駅 05:30-07:50～室堂 09:00-09:30～展望台
10:20～浄土山 11:25～富山大立山研究所 11:50-12:10(昼食)～鬼岳東面 13:10
～獅子岳 14:30～ザラ峠 16:05～五色ヶ原キャンプ場 17:05(幕営)

8/29(日)五色ヶ原キャンプ場 07:20～五色ヶ原山荘 07:40～鳶山 08:40～越中沢岳 11:15
～スゴノ頭 14:05～スゴ乗越 15:30～スゴ乗越小屋 16:35(幕営)

8/30(月)スゴ乗越小屋 06:30～間山 08:00～北薬師岳 10:35～薬師岳 12:20-12:55 (昼
食)～薬師岳山荘 13:40-14:05～薬師平 14:50～薬師峠キャンプ場 15:40(幕営)

8/31(火)薬師峠キャンプ場 07:15～太郎平小屋 07:35～五光岩ベンチ 08:30～三角点
ベンチ 09:50～折立 11:45～折立駐車場 12:00～亀谷温泉入浴後帰滋

雲ノ平に行った時にずっと薬師岳が見えかつこいいなあと憧れていた薬師岳。せっ
かくなら室堂から折立まで縦走しようということで以前、皆さんが夏山縦走で歩かれ
たルートに挑戦。

<1日目>立山駅からロープウェイやバスに乗って室堂へ。朝のうちは天気もよく、
展望台からは槍ヶ岳や笠ヶ岳が見られルンルン。ところが浄土山に着く頃から天気が
崩れ始める。ザラ峠に着くころには雨と強風。こんなところを本当にご先祖様は厳冬
期に越えたのか？と思いつつ、重い荷物にへろへろになりながらやっとの思いで五色
ヶ原へ。寒さのなか必死にテントを張ってホッと一息。明日は天気になりますように！

<2日目>朝起きると雨はやみ、美しい御来光に感激！！広大な草原に様々な花が咲き
乱れる中を気持ちよく歩く。振り返るとさっき通った小屋はもうあんなに小さく見え
る……。一步一步進むってすごいなあ。鳶山を越えて越中沢岳へ。そこからスゴの頭
までは急なガレ場で下りるのに一苦労。時間をかけてやっとの思いで下りる。しばら
く進んで振り返れば、なんと恐ろしい、あんなところを下りてきたんか……。スゴ乗
越小屋のテント場に着了いたら行動時間 9 時間ほど。今日もよく歩きました。日曜日だ
ったこともあり他にはテント 1 張りだけで静かにゆったり過ごせた。ビールで乾杯の
後、ガッツリ食べて爆睡。

<3日目>今日はいよいよ薬師岳へ。ところが今日も天候がすっきりせず、レインウ

エアを着ての出発となる。雨はたいしたことはないが強風なので、稜線では吹き飛ばされそうで怖かった。ずっと登り、しかも岩稜帯が続き、不安定な岩場に気持ち折れそうになりながら、一步一步。やっと北薬師岳へ到着。もうひとふん張りしてやっと、薬師岳山頂に到着。「やった〜!!」とウルウル……。薬師如来様が穏やかなお顔をして迎えてくださって感激。ここまで長かったなあ……。このあとは薬師峠のテント場までずっと下り。しばらくは緩やかな道。岩がゴツゴツの登ってきた道と薬師峠に下りる道では全然違うんだなあ。薬師岳山荘に着く頃には天気も回復し、小屋でコーヒーを飲んで元気回復。薬師峠に向かう最後の下りは沢に沿って岩がゴロゴロ、濡れているので滑らないように気をつけた。前回もお世話になった薬師峠のテント場に到着。よくがんばりました。またまたビールで乾杯。



<4日目> 最終日。テントを片付けてゆっくり出発。みんなもう出発済みのためか、太郎平小屋の前は人影少ない。後は折立までの下り。天気もよく気持ちの良い朝で、空の雲に秋の気配が感じられる。名残惜しく何度も振り返りながら木道を歩いた。今回、ちょうど PEAKS の8月号で同じルートの記事に「北アルプス大縦走 極上キャンプ地で過ごす午後のひと時」なんて書いてあったのでテント場でゆったりできるんや〜と安易に考えていたが、荷物の重さになかなか進めずテント場に到着まで毎日が試練の4日間、まだまだ力量が伴っていないなど力不足を感じた。コロナ禍が一日も早く収束して、また以前のように比良雪稜会の皆さんと夏山縦走が出来るようになるといいな。今回は憧れの薬師岳に登れて感激。そして行きたいところが次から次へと出てくる私。

K嶋リーダー、貴重な経験をさせていただいてありがとうございました。



<個人山行報告>

北関東／那須岳

日時 2021年9月11日～12日 天気 曇り～晴れ

参加者 I 東

11日 上野=(新幹線)=那須塩原=(バス)=那須ロープウェイ9:00 - 9:55 峰の茶屋跡 -
10:37 朝日岳 - 11:21 北温泉分岐 - 11:44 三本槍岳 - 12:54 大峠 - 14:23 三
斗小屋温泉(宿泊)

12日 三斗小屋温泉6:40 - 7:02 沼原分岐 - 7:48 峰の茶屋跡 - 8:19 茶臼岳 -
8:55 峰の茶屋跡 - 9:16 牛ヶ首 - 9:44 日の出平 - 10:00 南月山 - 10:48 白笹
山 - 11:23 南月山 - 12:29 黒尾谷岳 - 13:26 モノ木台 - 14:18 あげぼの平 -
15:20 一軒茶屋バス停



関東ではまだ行った事がなかった山域の、栃木県那須岳を歩いてきました。歩いたコースは良く整備されており、ガスがかかっても不安に感じる事はありませんでした。ただ、渡渉箇所の岩で滑って、靴を濡らしてしまったことが悔しいです。

今回は一人だったので、欲張って一泊二日で那須5山すべてに行きましたが、来年5月末に2山から3山に抑えて、温泉にゆっくり入る例会を計画したいと思います。



①

那須5山、行った順に ①朝日岳



②



③

②三本槍岳



④

④茶臼岳



⑤

④南月山 ⑤白笹山



三斗小屋温泉煙草屋旅館に宿泊しました。露天風呂と屋内にも共同浴場があります。男女で時間帯を分けており、持って行った水泳パンツは不要でした。両方に入りましたが、天気が今一だったこともあり、屋内の方が温まって良かったです。なお、携帯電話は使用不可、コンセントで充電もできません。インシュラフがないと、布団ソーツが有料で貸出しとなります。観光地の温泉宿より、山小屋に近い、といったところです。

小屋の主人に聞いたところ、5月GWを過ぎると雪は消え、新緑の季節となり、夏道がほぼ利用できる、との事。南月山もいい所でした。その南側を下山し、もみの木台から別荘地内を通り、一軒茶屋バス停まで歩きましたが、長いアスファルトの道にうんざり。複数で行動するならタクシーを呼ぶ必要がありそうです。

途中、りんどうの花や、名前は知らなくて残念ですが黄色の花が咲いていました。三斗小屋温泉付近はダケカンバの森で、新緑の頃はきれいだろうと思います。

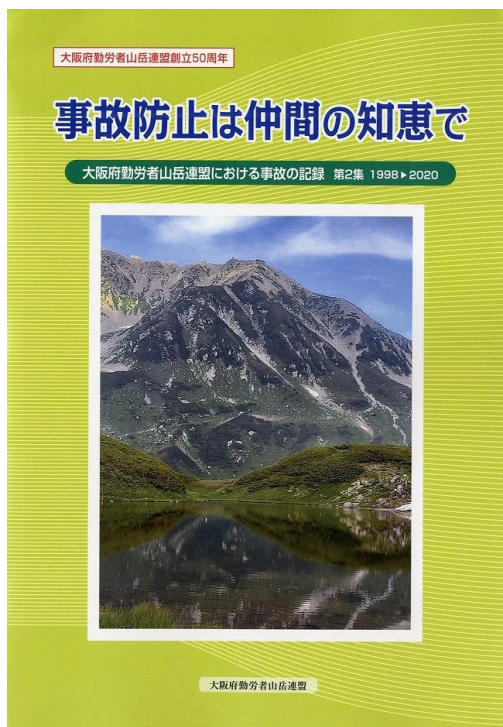


<図書案内> 山岳事故の記録集「事故防止は仲間の知恵で」

この度、大阪府勤労者山岳連盟が創立50周年記念として発行されました大阪府勤労者山岳連盟における1998年～2020年の山岳事故の記録集「事故防止は仲間の知恵で」をご案内させていただきます。1冊は比良雪稜会事務所の図書にありますのでご確認下さい。

購入希望者は**9/30（木）まで**に事務局N野までメールでお知らせ下さい。

事務局 N野



大阪労山の仲間たちの事故事例 増刷しました
1冊600円+送料. ぜひご購入下さい

大阪府勤労者山岳連盟 理事長

編さん委員会委員長

大阪労山の仲間たちの事故事例を1998～2020年にわたって、A4で137ページにまとめました。

常任理事会と教育遭対部でつくった編さん委員会が作成し2021年4月に発行しました。

1. 分析の要点は以下のとおりです。

- (1) 登山道での事故が多い、
- (2) 下山中の事故が多い、
- (3) 登山道下山中の事故は墜落や転落よりも その場での転倒が多い、
- (4) にもかかわらず骨折にまで至っている、
- (5) 登山道下山中の事故は14時頃集中的に起きており、これが全体の事故統計でも「魔の時刻は14時」に対応している可能性がある。
- (6) 道迷いの事故は2%しかない。連盟「山の教室」の読図チームの活躍や各会での読図公開ハイクなどの取組の成果だと思われる。

2. 各山岳会などで、ぜひ、勉強会を開いてください。

講師も、いたします（N川K道）。

3. 1冊600円。（大阪労山所属会員は割引します。お問い合わせ下さい）

・希望される方は

氏名／所属会／〒／住所／冊数を

大阪労山事務局・までご連絡願います。

折り返し振込先を連絡します。入金を確認できたら発送します。

・緊急事態宣言中ですので郵送のみとなります。

送料は2冊まで198円、3冊以上の場合は別途連絡します。

2021年度 第6回 運営委員会報告書

出席：N村、N野（記録）、T中啓、K藤、I井、H部史、K林、H浦

T中利、H島、K嶋

欠席：S内、F川、H野

場所：和邇文化センター内 和邇コミュニティーセンター第3会議室

日時：2021年9月14日（火） 19時35分～20時20分

1. 登山交流会について

飲み水水質調査兼放射線測定山行を登山交流会とし、日程は前回の第5回運営委員会および第4回

リーダー部会で10月31日（日）に決定した。コースは比良2コースとして、他会からの参加者を募集する。県連ニュース10月号に詳細を掲載する。

今回の登山交流会は夏原グラントの助成を受けており、夏原グラントを運営している「しがNPOセンター」より1名参加される。参加者は登山未経験の為、金毘羅道の湧水採取にのみ参加する。

2. 登山祭典について

10月24日（日）の登山祭典は今年の4/29（日）に予定していた中止になった春の公開野点山行

「赤坂山～三国山～黒河峠」とする。定員40名の貸切バスでの移動で、会員20名と一般参加者20名の予定で募集する。一般参加者は春の公開野点山行の参加希望者を優先する。

県連が準備するチラシはHPにもアップする。本会で準備したA5版のチラシは一般参加者に配る。

会員の参加希望者はメールでN村高宛てに早期に申し込みをして下さい。

3. 40周年記念誌の準備状況について（H部史氏）

記念誌は印刷完了し、9/13（月）に印刷会社へ出向き120冊を受け取る。同日、発送準備作業を行う。発送先は昨年の記念祝賀会時点で会員（以後の入会者含む）および会友であった人、および祝賀会の参加者全員と関係先（全国連盟等）。9/15に発送予定。記念誌作成に関する費用は約20万円に収まった。記念誌の予備は事務所にあるので、必要な方はH部史、K林まで。

40周年記念誌担当のH部史男氏、K林T子氏をはじめ40周年記念誌発行に携わられました方々に深く御礼申し上げます。

4. 各担当より

遭難対策：例会山行「雨乞岳」は緊急事態宣言発令中の為に中止になったが、会員からの要望が出ていた山行なので、今年の秋に実施予定。

自然保護：10/31（日）に実施予定の交流山行；飲み水水質調査兼放射線測定山行に使用する放射線測定器の手配の準備状況はどうか？（K藤）T中利理事よりF川理事に確認する。（T中利）

リーダー部、技術アップ、会計、機関誌、労山基金、HP、40周年担当、事務局：特になし。

5. 県連報告

第6回理事会は9/1（水）にメール会議に変更して実施し、県連ニュース10月号に掲載予定。次回の第7回理事会は10/6（水）にメール会議で実施予定。

県連のHPに掲載されている比良雪稜会のリンク先が新しいリンク先と古いリンク先の両方あるので、古いリンク先を省くよう連絡して欲しい。（K藤）M内理事長がHPを担当しているので、M内理事長に連絡する。（T中利理事）

6. その他

- ・新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の滋賀県内での発令中は本会の例会開催は中止する。
- ・事故事例集（大阪府勤労者山岳連盟）を1冊購入して事務所の図書として保管している。個人的に購入したい希望者に対してぶな10月号に案内文を掲載する。
- ・夏原グラント関連の交流会に中野・近藤の二名が参加した。活発な意見交換が行われ、特に大学生らの若い人達に期待したい。
- ・交通費は35円/kmです。
- ・会員動向；現会員数41名。K井H氏とI井T氏は7月末日、T田F美子氏は8月末日に退会。
- ・「比良比叡トレイルマップ」が堅田駅前観光案内所で販売されており、会として1冊購入する。価格は1,100円/冊です。（小林）

次回 第7回運営委員会は、10月12日（火）です。



2021年10月予定表

1	金		19	火	
2	土	例会 東ヶ谷山	20	水	第5回リーダー部会
3	日		21	木	
4	月		22	金	「ぶな」原稿締切
5	火		23	土	
6	水		24	日	登山祭典兼秋の公開野点山行 赤坂山～三国山～黒河峠
7	木		25	月	
8	金		26	火	
9	土	例会 雨乞岳	27	水	
10	日		28	木	
11	祝月	スポーツの日	29	金	
12	火	第7回運営委員会	30	土	
13	水		31	日	交流山行兼水質調査・放射線測定山行 比良2コース
14	木		編集後記 ずいぶんと秋らしくなってきました。紅葉が楽しみです。ね。 10月こそ、皆さんと以前のように山行できることを心から願います。 編集ご協力ありがとうございました。		
15	金				
16	土	例会 京都トレイル(2)			
17	日				
18	月				
11月の予定					
7	日	例会 朽木(鯖街道)焼尾地蔵～根来坂～池の地蔵			
21	日	例会 大文字山 山科～銀閣寺			



滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp>